

櫻坂を緩歩中

先輩からのメッセージ パート4（最終）

Sさん（公立高校を一般受検）

絶対に緊張しすぎずにリラックスして受けること。「こんな問題もあるんだ～」とか「ここ前やった問題だ～」とか楽しみながら受けるとよい。

30秒、手が止まったらとばして次に進むこと。全部終わらせて最後に回すと心に余裕ができる。頑張れ！

Tさん（公立高校を一般受検）

前日は寝れないかもしれないけど、はやめに布団に入ろう！勉強は理社がおすすめ。直前でも伸びる教科だからね！

睡眠時間はしっかりとろう。（私みたいにケアレスミスをしてしまうかもしれないから。）

あとは、1回書いた答は直さない方がよいと思う。私は最初の答があっていたのに、難しく考えてしまって、社会では本当は50点位とれたのに、直しちゃって点を下げましたから。頑張っ
てね。

【札幌新陽高等学校】＝パスポート制度3期（対象＝生徒・保護者）

札幌新陽高校のパスポート制度3期が下記の通り行なわれます。

- ①日時 令和7年11月30日（日）午前 第1回セミナー
☛ガイダンス、模擬授業、課題配布
12月 6日（土）午後 第2回セミナー
☛個人面談、課題提出
- ②場所 札幌新陽高校
- ③留意
- ・ パスポートを取得するためには、2回のセミナーに参加することが条件です。
 - ・ 認定結果は、12月9日（火）に本人及び中学校へ通知予定です。
 - ・ セミナーの時間帯等の詳細は、札幌新陽高校のHPでご確認ください。

パスポート制度3期の参加希望者は、札幌新陽高校のHPより各自で申し込みください。

受付期間は11月30日（日）の第1回セミナー当日までです。

裏面に記した理由により、参加される場合は中学校への連絡してください。

●札幌新陽高校のパスポート制度3期の実施について

本校を含め、多くの中学校において私立高校の志望校を決定された生徒が多数いる現在ですが、生徒及び保護者から札幌新陽高校へ当初予定していなかった「パスポート制度3期を実施して欲しい。」といった要望、問い合わせが多数あったとのことです。

そのため、「急遽、パスポート制度3期を実施したことをご理解ください。」とのことです。

そこで、「パスポートが認定されれば札幌新陽高校へ進学したい。（受験したい。）」といった生徒はパスポート制度3期に申し込まれる前に学級担任と相談のうえ、申し込みください。

【北海道芸術高等学校】＝体験入学（対象＝中学生、保護者）

本日、北海道芸術高校からいただいたプリントを3年生全員に配布しました。

プリントには、12月13日（土）に開催される体験入学について記されております。

体験入学の参加希望者はプリントのQRコードから申し込みください。

（中学校への連絡は不要です。）

@coffee break トランプの「7並べ」

トランプの「7並べ」は小さな子どもから大人まで楽しむことができるシンプルなルールの遊びです。

しかし、「7並べ」を運試しゲームのように考えている方がいるのではないのでしょうか？

確かに最初の手札の良し悪しは運で決まりますが、その後は、頭脳ゲームなのです。

「パス3回までOK」という通常ルールでは、手札を早く減らそうと単純にカードを並べてはいけません。時には、並べられるカードがあってもパスを上手に使うことです。

※並べられるカードは最大8枚で、この8枚の多くを支配してしまえば勝てます。

ゲームスタート時で考えてみましょう。4種類の7が並べられています。ここで、出せるカードは4種類の6と4種類の8の計8枚だけです。（減多に起こりませんが、）仮にこの8枚全てが手札にあるとします。また、手札にはハートの5もあるとします。（ただし、ハートの4は手札にはない。）この場合、ハートの6を並べます。他のプレイヤーは並べられるカードがないのでパスするしかありません。自分の順番が回ってきました。ここでハートの5を並べてはいけません。パスするのです。再び並べられるカードのない他のプレイヤーはパスするしかありません。あとは、パスの繰り返しで、自分のパス回数3回、他のプレイヤーのパス回数4回で100%勝利できます。（ただし、「パス4回によって脱落したプレイヤーの手札を場に並べ、隣り合っているカードは並べられる。（例：スペードの3と5が並べられた場合、スペードの4を持っているプレイヤーは並べることができる。）」というルールの場合、100%勝利できるとは限りません。）

また、ゲームが進行し、エース（1）やキング（13）が並べられると、並べられるカードが8枚→7枚→6枚→5枚→…と減っていきます。減ってきた段階で、並べられるカード全てを支配してしまえばよいのです。つまり、7並べは「他のプレイヤーにとって都合のよいカードを並べないこと。並べるぐらいなら上手にパスを使う。」ことが大切なのです。